

コンゴウインコのかんさつシート

子ども動物園のインコとゾウガメの森でお気に入りのインコを探して、観察してみよう！

行動をかんさつ！
見られたものに○をしよう

どこにいる？

() 地面 () 止まり木

何をしています？

- () 地面を歩いていた
- () 止まり木の上を歩いていた
- () 止まり木にぶらさがっていた
- () うんちをした
- () エサを食べていた
- () 羽づくろいをしていた
- () 寝ていた
- () 鳴いていた
- () くちばしで物をつかんでいた
- () その他



観察した
インコの名前

からだの色や
模様をかんさつ！
色えんぴつでぬってみよう。

観察したインコは
誰という？

↓あてはまるものに、○をしよう

- () ちがう色のインコ
- () おなじ色のインコ
- () 1羽でいる

目立つ色の動物を探そう！

↓見つけたら、○をしよう

- () フラミンゴ
- () マンドリル
- () オニオオハシ
- () オシドリ
- () ショウジョウトキ

インコのからだの色は、なぜこんなに目立つ色をしているのかな？考えてみよう。

発見したこと

学校名

名前

先生用 コンゴウインコのかんさつシートと解説

ワークシートのねらい インコの行動や体の特徴を観察することを通して、鳥類への興味・関心を引き出すと共に、どのような生活をしているのか考えるきっかけとする。

コンゴウインコ オウム目インコ科

- ・コンゴウインコは、17種いて、その中のいくつかは絶滅の危機に瀕しています。社会性のある鳥で、多くの場合、10～30羽の群れを作って暮らしています。
- ・動物公園には、5種のコンゴウインコがいます。

和名	スマレコンゴウインコ	ヒワコンゴウインコ	ルリコンゴウインコ	ベニコンゴウインコ	アカコンゴウインコ
					
分布	ブラジルの固有種で、サバンナや湿原など開けたところの周囲にある乾燥林などに生息しています。	パナマ南部からブラジル、ボリビア、パラグアイとトリニダードにいたる沼沢性熱帯雨林に生息しています。	南アメリカ大陸のブラジルやボリビア、パラグアイなどの川沿いの熱帯雨林に生息しています。	南アメリカ北部の湿気が多い森林に広く生息しています。	メキシコ最東端の一部からペルーとブラジルのアマゾン川流域にいたる熱帯常緑樹林の湿潤な低地に生息しています。
食性	植物食で、主にヤシの果実を食べていますが、他の植物の果実や陸棲貝類も食べます。	植物食で、果実や木の果実、主にアーモンドの実を主食としています。	雑食で、果実、種子、小型の昆虫などを食べます。	雑食で、果実、種子、小型の昆虫などを食べます。	主に、果実と種子を食べますが、大型の硬い殻のある種子も食べます。また、花の蜜や花粉も食べます。
動物公園で与えているエサ	リンゴ、オレンジ、バナナ、煮サツマイモ、トマト、食パン、落花生、クルミ、レーズン、ヒマワリの種、小麦、麻の実、など				

■ 特徴的なくちばし

インコのかちばしは、上のかちばしが下に湾曲して先端がかぎ状になり、そこにより小さめで上に湾曲した下のかちばしがすっぽりとはまっています。上のかちばしは特殊なちょうつがいと頭骨に付いており、動きやすさと「てこ」の力を得ています。

インコはくちばしを器用に使い、羽づくろいをしたり、種子の硬い殻などを割ることもできます。また、第3の足としての働きもします。枝の間を移動する時など、足と連携して、枝をつかみ、からだを支えたりしています。

動物公園でも、止まり木での移動の際には、くちばしを使って移動したり、枝につかまったりする様子が見られます。また、羽づくろいはもちろん、殻のついた種子を食べる時にも、くちばしだけで器用に殻をむく様子も見られます。くちばしをどんなところで使っているか、観察してみましょう。



■ カラフルなからだの色

コンゴウインコの体色はとてもカラフルですが、こんなにも目立って、天敵に見つかりやすくないのかと思ってしまう。確かに、こうしたデメリットはあります。しかし、それでもカラフルな色には理由があります。熱帯雨林は大きな木がうっそうと茂っているため、森林の内部には光が届きにくく、昼間でも薄暗いのです。そのため、目立つ色をしている方が仲間を見分けたり、繁殖相手を見つけるのには適しています。

また、森林の中で、上を見上げて、空の方が明るいため鳥はシルエットとなり見つかりにくいのです。

このように、コンゴウインコは、デメリットもありますが、メリットの方が多いため、カラフルなからだの色を受け継いできたのです。

* 飼育員のコラム 『コンゴウインコの夫婦はいつも仲良し』*

コンゴウインコの仲間は、群れを作って暮らしていますが、つがいになると通常一生添い遂げます。動物公園でも、つがいと飼育していると、繁殖だけではなく、寄り添っている姿もよく見られ、食べ物を与え合ったり、お互いに羽づくろいなどをしたりします。とても仲良し夫婦です。

時々、ギャーギャーとケンカをしているのか?! というような大きな声でなっていることがあります。これは、仲間とコミュニケーションをとったり、縄張りの印としたり、互いを確認しているのです。野生では、うっそうとした熱帯のジャングルの中では、大きな鳴き声が大活躍するのです。

